



2023年6月5日発行

第 121号

事務局 〒161-0033 東京都新宿区下落合
1-3-16ジョリーメゾンヌベル下落合205号
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
http://www.seishineisei.gr.jp/

〈目 次〉

日本精神衛生学会第39回大会 大会長挨拶……………	1
日本精神衛生学会第39回大会のご案内……………	2
2022年度第3回常任理事会議事録概要……………	6
事務局からのお知らせ……………	7



日本精神衛生学会第 39 回大会 大会長挨拶

日本精神衛生学会第 39 回大会 大会長

上別府圭子 (国際医療福祉大学大学院看護学分野)

新型コロナウイルス感染症がこの5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ5類に位置づけられるようになり、学術集会も加速度的に、現地開催に戻ってきているように思えます。リアルで会い、言葉を交わす実感を思い出し喜び合う場面に、どの学術集会に参加してみても出逢います。そんな時期ではありますが、第39回大会は遠方からでも安価かつ時短で参加できる利便性を優先して、オンライン中心の大会といたしました。ですからたくさんの方に、参加していただきたいと思います。

ホームページを開いていただくと、先ず梟(ふくろう)たちと目が合うと思います。こちら太田宏介さんの作品で、この絵の持つ温かさに魅せられて、お兄さんの太田信介さんから許可を得て、使用させていただいています。宏介さんは自閉症をもちながら、信介さんとタグを組んでご活躍の画家さんです。第39回大会の準備に際して、一番にこの絵を決め、それからテーマの「家族と個人」を決めました。

本大会のプログラムは、10名の多職種からなるプログラム委員によって、たいへん魅力的なプログラムができています。ロシアによるウクライナ軍事侵攻は収束が見えず、ヨーロッパに滞在しているウクライナ難民は約820万8千人 (UNHCR・5月9日現在) に上るということです。今年2月6日、トルコ・シリアは大地震に見舞われ、つい先日の5月5日には、石川県に震度6強の地震がありました。このように暮らす場所の安全が脅かされている家族にとって、リアルな支援が必要です。貧困や暴力に苦しみ、子育てや介護をつらく感じている家族にとっても、同様です。でも一方で、宏介さんの絵から温もりを感じるように、「心の家族」の大切さが語られているように、ファンタジーのもつ力も侮れないと思います。

本大会のテーマは「家族と個人」ですが、「リアルとファンタジー」を隠し味にしたいと思いました。講演を聴きながら、シンポジウムのディスカッションに参加しながら、また交流会で発言しながら、そんなこともちょっと思い出してみてください。優れた一般演題には優秀演題賞を贈ります。大会内で、日本医師会認定産業医研修を予定しています。また、イブニングセミナーとして「事例研究会」を同時開催する予定です。オンライン学会ではありますが、きっと「TOKYO」を感じていただけたと思います。

プログラム委員会・運営委員会・実行委員会のコラボレーションで、学びの多い、そして楽しい大会になるよう準備を進めて参ります。12月2日（土）・3日（日）、オンラインの中の「TOKYO」会場でお待ちしています。どうぞ、ご参集ください。



日本精神衛生学会第 39 回大会のご案内

日本精神衛生学会第 39 回大会のご案内

●テーマ

『家族と個人 一家族が個人に求めるものと個人が家族に求めるもの』

●会期 2023年12月2日（土）～3日（日）

●大会長 上別府 圭子（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科看護学分野）

●顧問 影山 隆之（大分県立看護科学大学看護学部専門看護学講座）

●事務局長 高下 梓（松本看護大学看護学部）

●日本精神衛生学会 第39回大会 HP

<https://seishin39th.jimdofree.com/>



●開催方法

完全 Web 形式で運営・開催いたします。大会参加者には、参加者限定ホームページからご参加いただきます。大会当日のプログラムには Zoom を利用します。大会事務局では、Zoom の設定方法や操作方法に関する個別対応やサポートは行いません。インターネット環境や、Zoom アプリのインストールなどのご準備をお願いいたします。大会参加に関するさらに詳しい情報は、今後のニュースレターや、大会参加者へのご案内にてお知らせいたします。全国どこからでも学会大会にアクセスしていただけますので、ぜひご登録ください。

●プログラムの概要

12月2日(土)

大会長講演：「私の精神衛生学（仮）」上別府 圭子（国際医療福祉大学大学院）

教育講演①：「アルコール・薬物依存症からのリカバリー 当事者の語りから紐解く依存者のリアル」渡邊 洋次郎（リカバリハウスいちご）

シンポジウム①：「子どもと家族の安全・安心と成長」コーディネーター 中野 真也（国際医療福祉大学心理学科）

理事長セミナー：「MCRT の先にある課題—支援者の支援と学会の役割」影山 隆之（大分県立看護科学大学）

委員会セミナー：「こころの不調を抱える親と子どもの成長」上野 里絵（東都大学ヒューマンケア学部看護学科）

一般演題①（口頭）／理事会／交流会／事例研究会（イブニングセミナー）

12月3日(日)

特別講演：「思いやる心は傷つきやすい：パンデミックの中の感情労働」武井 麻子（日本赤十字看護大学名誉教授）

教育講演②「労働者の睡眠と健康」影山 隆之（大分県立看護科学大学）

教育講演③「労働者の健康問題と労災認定—精神障害を中心に」廣 尚典（産業医科大学名誉教授）

教育講演④：「産業医のための職場復帰支援の在り方」大西 守（公益社団法人 日本精神保健福祉連盟）

※教育講演②～④は、認定産業医研修として現在申請中です（コーディネーター 廣 尚典（産業医科大学名誉教授））

シンポジウム②：「人生の最終段階をいかに生き、いかに死ぬか」コーディネーター 平島 奈津子（国際医療福祉大学三田病院）

シンポジウム③：「今、支援者のメンタルヘルスを守るためにできること（仮）」コーディネーター 岡田 佳詠（国際医療福祉大学成田看護学部）

一般演題②（口頭）／総会

●交流会のお知らせ

今大会では、交流会を企画中です。1日目のプログラムのコーディネーターや講師の先生にもご参加をお願いして、ディスカッションの続きができるチャンスを作りたいと思います。クイズ大会も企画中で、全問正解者には豪華賞品を用意します。



●一般演題の募集

一般演題を募集いたします。今大会では、オンラインでの口頭発表を予定しております。詳細は大会ホームページの「演題登録」のページに掲載しますので、ご確認ください。

演題登録 **(9月30日締切)** の際に、抄録原稿をあわせてご提出ください。大会ホームページの「演題登録」のページに応募要項や原稿フォーマットを掲載いたしますので、確認のうえご登録ください。後日、採否をご連絡いたします。多くのご参加をお待ちしております。

また、一般演題の発表者には、大会終了後に、学会誌へ掲載するための「事後抄録」のご提出をお願いしております。大会の様子をお伝えするために学会誌「こころの健康」の来月号(39巻1号)に掲載するもので、事前にご提出いただく「抄録集」への掲載原稿とは別のものです。

なお、優秀演題は、大会閉会式内で表彰します。Web大会にて表彰ののち、後日、賞状と副賞(記念品)を責任発表者宛に郵送します。(ご欠席の場合は、辞退されたものとして表彰されませんのでご注意ください。)

●事例研究(イブニングセミナー)の募集

事例研究(イブニングセミナー)を募集いたします。事例研究(イブニングセミナー)は2枠(A・B各2時間)ありますので、事例研究を2題募集します。各スーパーバイザーの紹介を大会ホームページの「演題登録」のページに掲載しますので、A枠・B枠を選択の上、応募してください。

演題登録 **(9月30日締切)** にあたっては、抄録原稿をあわせてご提出ください。後日、採否をご連絡いたします。大会ホームページの「演題登録」のページに応募要項や原稿フォーマットを掲載いたしますので、確認のうえご登録ください。多くのご参加をお待ちしております。

●大会参加費

会員：5,000円 非会員：6,000円 学部生・大学院生：2,000円

※一度入金された参加費は返金できません。あらかじめご了承ください。

※事例研究(イブニングセミナー)へご参加の方は、別途3,000円をお支払いいただきます。

登録の期日は2種類あります。11月11日までにお申し込みくださった方には、ご登録の住所宛に大会プログラム・抄録集と大会記念品をお送りします(発送時期：11月下旬)。

抄録集・記念品の郵送あり：2023年11月11日(土)23:59まで

抄録集・記念品の郵送なし：2023年11月27日(月)23:59まで

●事前登録の方法

第39回大会への参加申込は、「第39回大会ホームページ」→「参加登録」のページよりお手続きください。ページ下部のボタンをクリックすると、「Payvent」のページに移ります。そこからご登録ください。領収書および大会参加証は、「Payvent」から届く通知メールよりダウンロードできます（大会参加証は、大会会期中よりダウンロード可能となります）。大会事務局からの発行・送付はいたしませんので、「Payvent」の通知メールを確認のうえ保管してください。

●各種ポイント・単位について

臨床心理士資格更新ポイント、日本精神神経学会専門医単位、認定産業医研修については、「第39回大会ホームページ」→「大会概要」→「各種ポイント・単位」をご確認ください。

●お問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは、「第39回大会ホームページ」
→「お問い合わせ」よりお問い合わせください。



●こんな人が準備をしています♪

井本 香雅利 (NPO 法人 仕事の引出し)

今回ご縁がありまして、運営準備のお手伝いをさせて頂いております井本と申します。出来ることは限られておりますが、少しでも皆様のお力になれば幸いです。体調に気をつけて大会まで健康で迎えられればと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

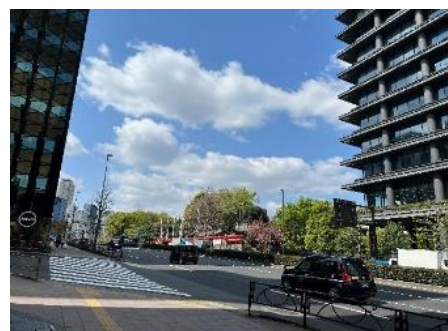
永井 尚志 (法政大学多摩学生相談室)

39回大会の準備をしている永井です。精神衛生学会は私が初めて入会した学会です。今でも初めて大会に参加した時のことやポスター発表をした時のことをよく覚えています。それから十数年経ちましたが、こうやって大会の準備に携われることにご縁を感じています。私があの時感じたアットホームであたたかな雰囲気をご皆さんにも感じてもらえたらと思って準備を進めています。皆様とお会いできるのを楽しみしています。

浅野 万里子 (一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター 事務担当)

初めまして。大会長からのお声がけで、第39回大会の金庫番をさせていただくことになりました。先ず大会用の口座を開設いたしました（昨今は、口座開設がたいへんなんですね）。

潤沢な運営資金を夢見て、せっせと記帳に通う覚悟しております。また、きちんとした会計報告が出来ますように、誠心誠意努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



2022 年度第 3 回常任理事会議事録概要

日 時 : 2023 年 3 月 28 日 (火) 19:00-20:40

会 場 : オンライン (Zoom ミーティング)

出 席 : (順不同・敬称略) 影山隆之、大西守、岡本淳子、加藤純、酒井佳永、西村靖史、福島眞澄、丸山総一郎、吉岡伸一、馬淵麻由子、高下梓 (第 39 回大会事務局長)、船越明子 (第 38 回大会大会長)、高塚雄介 (オブザーバー) (記録担当・事務局員 井口)

欠 席 : 6 名 (委任状 3 通)

1. 2022 年度事業報告 (案)

- ・影山理事長より 2022 年度事業報告を行った。
- ・船越理事より、第 38 回大会について参加状況、会計報告、アンケート結果が報告された。
- ・加藤常任理事および福島常任理事より、研修会の参加状況および会計について報告された。

2. 2022 年度会計報告 (案)

- ・事務局長より 3/10 現在の会計報告を行った。

3. 2023 年度事業計画 (案)

- ・影山理事長より 2023 年度の事業計画が報告された。
- ・加藤常任理事より 2023 年度の研修会の予定について報告された。
- ・学会賞 (土居記念賞) の選考委員について検討を行った。

4. 2023 年度予算案

- ・事務局長より 2023 年度予算案について報告を行った。
- ・2023 年度は役員改選の年となるためそのための予算を計上した。

5. 編集委員会

- ・酒井編集委員長より学会誌の発刊状況および 38 巻 1 号の編集状況等が報告された。
- ・学会誌 38-1 号 (大会特集号) の編集方針について検討を行った。

6. 第 39 回大会について

- ・高下大会事務局長より Web サイト開設やプログラム案について報告がなされた。産業医制度に関する研修の実施方法について検討を行った。

7. 第 40 回大会について

- ・中野良吾副理事長 (創価大学) が、第 40 回の大会長となることが報告された。
開催日程や形式については未定ではあるが、開催にあたり理事へご協力のお願いがあった。

8. その他

- ・今後の広報活動について、会員数の増加や学会活動の活性化を目的とした具体的広報活動や広報委員会のようなものを立ち上げる案について意見交換を行った。影山理事長を中心に非公式の広報活動ワーキンググループを作り検討していくこととなった。

以上

事務局からのお知らせ

2023年度は役員選挙が行われます。ご所属等の変更や学生会員から正会員への移行など登録情報に変更がございましたら、すみやかに事務局へご連絡ください。登録情報の変更は、学会ホームページ「会員の皆様へ」にある用紙にご記入の上、メール、FAX、郵送のいずれかにてご連絡をお願いいたします。

当学会は、会員みなさまの会費で運営しております。2023年度分の会費につきましてもお早めにご納入くださいますようお願い申し上げます。

日本精神衛生学会 ホームページ

<http://www.seishineisei.gr.jp/>

